

はじめに

佐賀大学医学部長 木本雅夫

医学・看護学の研究に「お金」は必要か。理論ではなく、実証的研究である医学・看護学研究は実験や調査がその手段であり、そのためには必要十分な経費が伴うことは当然です。しかし、あまり多額の研究費があると返って研究が雑になる、あるいは研究の妨げになるということは、ある程度経験を積んだ研究者にはよく理解されていることです。なまじお金があるために、重要なステップの実験を外注したり、高価なキットをよく吟味しないで使って結果を得るだけで満足してしまい、誤った（あるいは不十分な）結論を導き出すことがしばしばあります。高価なキットであるから、外注は便利で信頼できるからといって、その内容が十分であるという保証はありません。むしろ、自分で実験し、途中の結果をよく観察し考え抜くことにより思いがけない発見にめぐり合うチャンスがあります。外注やキットはそのような絶好の機会を奪っているともいえます。大発見のほとんどは、研究費が不足して節約を考える途中でなされていることを考えると、このことは研究の本質の一面を言い当てているものと思います。

しかしながら、研究費がないと研究ができないことも確かなことです。そのためには、研究者が個人あるいはグループで研究費を申請する必要があります。文部科学省の科学研究費補助金（科研費）をはじめ様々な省庁・民間研究助成団体による研究費補助の仕組みがあります。自分の研究内容や研究スタイルに合った研究費の申請を行い、研究を遂行することは大学教員の責務と考えられます。佐賀大学医学部では、教員が毎年の科研費に最低1件を申請することを義務としています。

大学への運営費交付金が毎年減額されている中で、外部資金を獲得する必要があるといわれています。基本的には、資金獲得が目的ではなく、各教員が職務に忠実に研究費申請をおこなえば、外部資金は十分獲得できると考えます。「最初に研究費あり」ではなく、「最初に研究あり」という研究の原点に忠実であることが、内容ある研究成果を生むことにつながり、使った研究費の額面を何倍も上回る価値をもたらす、結果的には国民の負託に応えることとなります。

今回の研究業績年報にも、佐賀大学医学部教員によるすばらしい研究成果が多数掲載されています。これらがさらに発展して、医学・看護学の発展に資することが期待されます。

凡 例

- 1 この研究業績は、本学の専任教官，医員，医員(研修医)，大学院生，研究生，専攻生及び技術職員等が，平成18年1月1日から平成18年12月31日の間に，またはこの期間の日付で発行（発表）した研究業績を収録した。

また，平成17年12月31日以前の研究成果のうち，未収録であったものを追加して収録した。

- 2 複数の講座等（講座内研究グループを含む）にまたがってまとめられた研究成果は，各々重複して掲載されている。そのため，著書，学術論文及び学会発表については，業績番号の次に以下のように区分記号を付した。

無印…………筆頭著者（発表者）が当該講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

○印…………筆頭著者（発表者）が本学内の他の講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

*印…………筆頭著者（発表者）が本学外に所属する研究者である研究成果

目 次

基礎医学系

分子生命科学講座	1
(旧生化学講座, 旧薬理学講座, 旧一般教育等化学, 旧一般教育等生物学, 旧免疫・血清学講座)	
生体構造機能学講座	12
(旧解剖学講座, 旧生理学講座)	
病因病態科学講座	21
(旧病理学講座, 旧微生物学講座)	
社会医学講座	28
(旧地域保健科学講座, 旧法医学講座, 旧一般教育等英語, 旧一般教育等哲学)	

臨床医学系

内科学講座	34
膠原病・リウマチ	
呼吸器	
神 経	
血 液	
循環器	
腎 臓	
消化器 (光学医療診療部を含む)	
肝臓・糖尿病・内分泌	
皮 膚	
精神医学講座	78
小児科学講座	80
一般・消化器外科学講座	93
胸部・心臓血管外科学講座	102
整形外科学講座	107
脳神経外科学講座	114
泌尿器科学講座	118
形成外科	122
産科婦人科学講座	124
眼科学講座	129
耳鼻咽喉科学講座	132
放射線医学講座	137
(放射線部を含む)	
麻酔・蘇生学講座	143
(手術部・集中治療部を含む)	
歯科口腔外科学講座	148

臨床検査医学講座	151
(検査部・輸血部を含む)	
救急医学講座	156
(救命救急センターを含む)	
地域医療科学教育研究センター	
医療連携システム部門	159
福祉健康科学部門	161
地域包括医療教育部門	165
看護学科	
看護基礎科学講座	167
成人・老年看護学講座	168
母子看護学講座	175
地域・国際保健看護学講座	177
附属病院	
総合診療部	183
医療情報部	185
リハビリテーション部	186
MEセンター	188
卒後臨床研修センター	188
薬剤部	189
看護部	189
患者サービス課	191
附属施設等	
保健管理センター	192
総合分析実験センター	194
(生物資源開発部門・機器分析部門)	
寄附講座	
血管不全学講座	197
人工関節学講座	198
先端心臓病学講座	202

総論

1. 研究業績刊行物等の件数

著作物	数
著書（和文）	162
著書（英文）	12
学術論文（和文）	450
学術論文（英文）	325

2. 研究経費（文部科学省，厚生労働省その他の省庁，地方公共団体，民間団体等からの研究助成金）の採択状況

(1) 文部科学省科学研究費補助金	78件	147,084,875円
内訳		
特定領域研究	1件	4,600,000円
基盤研究（B）一般	6件	25,080,000円
基盤研究（C）一般	43件	58,600,000円
萌芽研究	7件	10,700,000円
若手研究（A）	1件	20,670,000円
若手研究（B）	17件	22,654,875円
若手研究（スタートアップ）	2件	2,680,000円
特別研究促進費	1件	2,100,000円
(2) 厚生労働省科学研究費補助金	3件	31,965,000円
(3) 受託研究	11件	15,103,500円
(4) 各種研究助成補助金	23件	98,736,000円

3. 表彰一覧

講座名	氏名	学術（学会）賞名	学賞課題
分子生命科学講座・教授	吉田 裕樹	日本インターフェロン・サイトカイン学会奨励賞	IL-27 受容体欠損樹状細胞における抗原提示能と Th1 誘導能の亢進
生体構造機能学講座・大学院生	柳 涛	Selected Paper from the 28th Annual Meeting of the Japanese Association for the Study of Pain (2006)	Phospholipase A ₂ activation enhances inhibitory synaptic transmission in the rat substantia gelatinosa
内科学講座・医員	藤松 大輔	第101回日本循環器学会九州地方会 Young Investigator's Award 最優秀賞	血小板由来マイクロパーティクル (PDMP) は PCI 後再狭窄の予測因子となる
内科学講座・医員	藤松 大輔	The CCT 2006 Best Case	Peripheral Intervention
一般・消化器外科学講座・講師	北島 吉彦	第20回日本消化器病学会奨励賞 (筆頭古賀靖大, 共著論文)	The significance of aberrant CHFR methylation for clinical response to microtubule inhibitors in gastric cancer.

講座名	氏名	学術(学会)賞名	学賞課題
一般・消化器外科学講座・助手	三好 篤	会長賞(第18回日本肝胆膵外科学会)	10cm以上の巨大肝癌に対する長期生存獲得への治療戦略
一般・消化器外科学講座・大学院生	古賀 靖大	第20回日本消化器病学会奨励賞	The significance of aberrant CHFR methylation for clinical response to microtubule inhibitors in gastric cancer.
一般・消化器外科学講座・助手	三好 篤	平成18年度大学院医学系研究科優秀論文賞 優秀論文奨励賞	Tumor-syromal cell interaction under hypoxia increases the invasiveness of pancreatic cancer cells through the hepatocyte growth factor/c-Met pathway.
胸部・心臓血管外科学講座	Sakuragi T, Lin X, Metz C.N, Ojamaa K, Kohh N, Al-Abed Y, Miller E.J.	Feinstein Institute for Medical Research. Surgical Infection Society 26 th Annual Meeting, La Jolla, CA New Member Award	

4. 学位授与件数

課程博士 9人, 論文博士 16人, 看護修士 7人, 医科学修士 9人

5. 学術国際交流基金事業

招へい事業

講座・役職等	氏名	招へい研究者	期間	支出額
歯科口腔外科学講座 教授	後藤 昌昭	スリランカペラデニア大学 歯学部口腔外科講師 ヘワパティラナ・サンジェ	平成18年10月9日) 平成18年11月4日	90,301円
地域医療科学教育 研究センター 教授	酒見 隆信	米国ハワイ大学医学部 医学教育オフィス医学教育プロ グラムスペシャリスト レイモンド・タバタ	平成18年11月11日) 平成18年11月25日	170,200円

国外・国内派遣者助成

講座・役職等	氏名	学会等名	派遣期間・派遣先	支出額
分子生命科学講座 講師(特任)	副島 英伸	第11回国際人類遺伝学会	H18.8.6~H18.8.10 オーストラリア ブリスベン	161,610円
総合診療部 教授	小泉 俊三	「高度問題基盤型学習 セミナー」参加	H18.4.2~H18.4.7 米 国 ホノルル	321,190円
総合診療部 講師	小田 康友	「高度問題基盤型学習 セミナー」参加	H18.4.2~H18.4.7 米 国 ホノルル	213,040円
総合診療部 教授	小泉 俊三	第6回アジア太平洋 PBL カン ファレンス参加	H18.5.25~H18.5.28 日 本 東 京	99,400円
地域医療科学教育 研究センター 教授	酒見 隆信	第6回アジア太平洋 PBL カン ファレンス参加	H18.5.25~H18.5.28 日 本 東 京	88,150円 45,000円

講座・役職等	氏名	学会等名	派遣期間・派遣先	支出額
総合診療部 講師	小田 康友	第6回アジア太平洋PBLカンファレンス参加	H18.5.25～H18.5.28 日本 東京	99,000円 40,000円
生体構造機能学講座 教授	熊本 栄一	第36回北米神経科学会議	H18.10.14～H18.10.18 米国 アトランタ	111,750円
成人・老年看護学講座 助手	上野 和美	第8回国際サイコオンコロジー学会	H18.10.16～H18.10.21 イタリア ベニス	183,880円
地域・国際保健看護学講座 大学院生	古川真三子	第8回アジア太平洋災害医学会	H18.11.20～H18.11.22 日本 東京	66,300円

奨学金助成

所属	氏名	指導教官	助成期間	支給総額
生態制御系 (博士課程)	リ 李 コウエイ 光英	精神医学 教授 山田 茂 人	平成18年4月) 平成19年3月	360,000円
医科学専攻 (修士課程)	ヨウ 楊 ジュンエン 春燕	精神医学 教授 山田 茂 人	平成18年4月) 平成19年3月	360,000円
内科学 研究生	ワン 王 ダハイ 大海	内 科 学 教 授 野 出 孝 一	平成18年4月) 平成19年2月	330,000円
ハワイ大学医学部学生の医学臨床 実習活動奨学金(4名)		佐賀学医学部・ハワイ大学国際 交流事業実施部会長 青木 洋 介	平成18年6月18日) 平成18年7月7日 (20日間)	320,000円

6. 教員の異動

平成18年1月1日から12月31日の間における講師以上の教員の異動は復職、休職を除き29名であった(人事異動参照)。

脳神経外科学講座田淵和雄教授、病因病態科学講座茂木幹義助教授の2名が定年により3月31日付けをもって退職となった。永年本学の発展のために果たされたご苦労に対し感謝したい。

また、本学医学部から転出された6名の諸先生方のこれまでのご活躍に感謝し、今後益々のご発展を期待したい。

11月16日には脳神経外科学講座教授に松島俊夫氏(浜の町病院)が就任した。昇任人事は10名であった。教授昇任はなし。その他昇任人事は助教授昇任5名、講師昇任5名であった。

今後ますますのご健闘をお祈りしたい。

なお、平成16年4月1日から国立大学が法人化されたことにより、国立間の異動については、辞職・採用の扱いになった。

※ 馬渡正明氏については、寄附講座教員(人工関節学講座)・助教授相当を辞職してからの採用となるので、転出には当たらない。

異動年月日	所属・職名	氏名	異動の内容
18.1.1	胸部・心臓血管外科学講座・助教授	岡崎 幸生	昇任（本学・心臓血管外科・講師から）
18.1.1	肝臓・糖尿病・内分泌内科・講師	水田 敏彦	昇任（本学・助手から）
18.2.1	泌尿器科学講座・助教授	藤山 千里	採用（医療法人原三信病院から）
18.2.1	内科学講座・助教授	三砂 範幸	昇任（本学・皮膚科・講師から）
18.2.1	小児科・講師	松尾 宗明	昇任（本学・小児科学講座・助手から）
18.3.1	心臓血管外科・講師	古川浩二郎	昇任（本学・胸部・心臓血管外科学講座・助手から）
18.3.1	内科学講座・講師（特任）	小荒田秀一	命（本学・助手）
18.3.1	光学医療診療部・講師（特任）	綱田 誠司	命（本学・助手）
18.3.16	眼科学講座・助教授	平田 憲	採用（医療法人研英会 林眼科病院から）
18.3.31	脳神経外科学講座・教授	田淵 和雄	定年退職（小柳記念病院へ）
18.3.31	病因病態科学講座・助教授	茂木 幹義	定年退職
18.3.31	歯科口腔外科学講座・助教授	式守 道夫	退職（朝日大学へ）
18.3.31	精神神経科・講師	川島 敏郎	退職（ハーバード大学へ）
18.3.31	病因病態科学講座・助教授	杉田 保雄	退職（久留米大学へ）
18.3.31	寄附講座教員（人工関節学講座）・助教授相当	馬渡 正明	辞職（本学・整形外科科学講座・助教授へ）
18.4.1	精神神経科・講師	楯林 英晴	採用（九州大学大学院医学研究院精神病態医学助手から）
18.4.1	一般・消化器外科学講座・講師（特任）	高橋 知秀	命（本学・助手）
18.4.1	整形外科科学講座・助教授	馬渡 正明	採用（寄附講座教員（人工関節学講座）・助教授相当から）
18.4.1	寄附講座教員（先端心臓病学講座）・助教授相当	日塔 武彰	採用（山形大学医学部助手から）
18.4.12	看護学科看護基礎科学講座・教授	宮原 晋一	辞職（長崎労災病院へ）
18.5.1	産科婦人科・講師	中尾 佳史	昇任（本学・助手から）
18.6.1	歯科口腔外科学・助教授	井原功一郎	昇任（本学・歯科口腔外科・講師から）
18.6.1	地域医療科学教育研究センター・助教授	小田 康友	昇任（本学・総合診療部・講師から）
18.8.1	分子生命科学講座・講師	原 博満	採用（理化学研究所から）
18.9.30	救急医学講座・助手（講師（特任））	大串 和久	辞職（弘前大学医学部・助手へ）
18.11.16	脳神経外科学講座・教授	松島 俊夫	採用（浜の町病院から）
18.12.1	地域・国際保健看護学講座・助教授	山川 裕子	昇任（本学・講師から）
18.12.1	血液内科・講師	福島 伯泰	昇任（本学・助手から）
18.12.31	分子生命科学講座・助教授	高橋 素子	辞職（札幌医科大学へ）